## 瀬戸内市発ブランド

平成22年11月から、国の補助金を活用し、地域ブランド※の構築に向けて市内の農業、水産、商工、観光などの関係者に参加してもらい、ブランド概念、ブランドの先導作物、商品開発などの検討を進めています。

その中で、市内で作付けの拡大が進んでいるレモン※をブランドの先導作物として位置づけ、平成23年11月3日には、道の駅「黒井山グリーンパークゆうゆう交流館」で、レモンを使った試作品の披露を行いました。

地域ブランドの構築は、瀬戸内市では初めての取り組みであり、これから市内の関係者、関係機関などが一体となり、総力を挙げてさまざまな取り組みを「発する」ものであるため、「瀬戸内市発ブランド」と称しています。

瀬戸内市の地域資源には「自然美」「感性美」「伝統美」が内在していることから、「美しさ」をブランドの共通概念とし、「Setouchi Kirei（セトウチキレイ）」と表現しています。

レモンを使ったパスタ料理の試作品

今後の取り組みを本格的、組織的に行うため、農水産、観光、商工、学識経験者などの関係者で構成するブランド推進協議会を平成23年度末までに設置する予定です。

今後はレモンの作付拡大、新商品の開発などの取り組みを推進し、開発された新商品や瀬戸内市の魅力について積極的に情報発信します。

## 上水道・下水道事業

水道事業経営健全化の一環として、近隣市と同様に、平成24年度から水道メーターの検針を2カ月に1回の隔月検針に変更し、水道料金についても2カ月分を合算して、偶数月のみの徴収とします。

上水道へ委託している下水道使用料金の徴収についても、平成24年度から上水道と同様の隔月徴収とします。

## 住宅用火災警報器の設置状況

市内の住宅用火災警報器※の設置状況は、平成23年10月末現在で79・2％です。設置率の向上を図るため、平成23年12月から大規模団地を中心に職員が訪問し、指導する予定です。

また、平成24年1月からは未設置の住宅を対象に啓発活動を実施し、最終的には全戸設置を目標に、指導啓発に努めます。

## 玉津小学校の統廃合

平成19年度に瀬戸内市立学校通学区域等検討委員会※から答申を受け、玉津小学校の統廃合に向けての説明会を開催してきました。

しかしながら、統合先の邑久小学校について、耐震診断の結果、耐震補強工事を行う必要があることが判明したことから、市としては、子どもたちが安全な環境の中で安心して学校生活を送ることが緊急の課題であると考え、学校施設の耐震化を最優先に進めることを地域の皆さんに説明し、承認を得て一時協議を中断していました。

邑久小学校の耐震補強工事が平成23年度には終了し安全な校舎が確保できること、玉津小学校では入学生が平成25年度から3年続けて1人となり、完全複式になることから、改めて平成23年7月、保護者から統廃合に向けて強い要望がありました。

保護者や地域の行政委員など統廃合に向けて協議を行い、最終的には保護者の要望を地域の皆さんが支持していくことになりました。

これを踏まえて市として、子どもたちの教育全般を考えたとき、集団性、社会性、コミュニケーション能力、さらには生きる力の育成などの面から統合すべきであると判断しました。

今後、平成24年度には複式授業の解消や地域の皆さんと協議しながら統廃合に向けての具体的な準備作業を行い、平成25年4月に邑久小学校へ統合する予定です。

## 牛窓東小学校校舎耐震改築工事

牛窓東小学校校舎耐震改築工事は、基本設計業務が完了しました。

建物は鉄筋コンクリート造り3階建て、高潮対策として1階床高を1メートル高くするとともに、津波対策として屋上広場を設置し、全校児童が緊急の場合に避難できる場所を確保しており、合わせて3階に防災備蓄倉庫を設置します。

平成23年度中に基本設計に基づき実施設計および建築確認業務を行い、平成24年度には、工事に着手し、外構工事を含めたすべての工事の完成は平成25年にまたがる見込みです。

## 美術館とオリーブ会

美術館開催の展覧会に関心を持つ人々に鑑賞の便宜を図るとともに、美術館の活動を支援することを目的とした「オリーブ会※」が平成23年10月1日に発足しました。

平成23年11月14日現在で、122名の会員を集め、美術館を支える組織作りが順調に進んでいます。

今後も美術館の愛好者が増え、地域の文化振興が図られるよう取り組んでいきます。

## 第25回備前長船菊花展

昭和61年に第1回菊花展が開催され、今年で25周年を迎えた備前長船菊花展には、約5千人の来場がありました。

展示会場には「菊づくり講座」の受講生や愛好者の皆さん70名が丹精込めて育てた市の花「菊」が約650鉢、見事に咲き誇りました。

## 移動図書館

図書館では、平成23年10月から市内の全保育園、幼稚園を対象として移動図書館サービスを開始しました。

このサービスは、すべての園児に「瀬戸内市図書利用者カード※」を発行し、月に1回公用車に絵本を積みこみ、各園を巡回するものです。

図書館司書職員が絵本の読み聞かせなどの「おはなし会」をした後、各園児に2冊ずつ絵本を貸し出しています。

瀬戸内市図書利用者カード（左上は新図柄カード。右下の図柄のカードも従来どおり使えます。）

さまざまな生活習慣が身につきはじめる幼児期に、本の楽しさや自分で本を選ぶ喜びを実感し、図書館利用習慣を身につけてもらうことを目的としています。

サービス実施後、親子連れで図書館・室を訪れる市民もあり、「保育園に図書館が来て絵本を貸してくれたと喜んでいる。絵本をきっかけに子どもとの触れ合いが増えた。」との声も聞かれるようになりました。

## 安心こども基金の活用

安心こども基金※を活用した図書館による子育て支援施策の一環として、「手遊び・わらべ歌講座」や「絵本講座」、学校図書館の使命と役割に関する講演会やシンポジウム、前総務相の片山善博慶應義塾大学教授を招いた「図書館と『知の地域づくり』」と題したフォーラムなど、さまざまな視点から市における新図書館のあり方を考える企画を実施、計画しています。

---

**地域ブランド**
地域そのものや地域の産品やサービスに対して消費者が持つ印象の総体。「ブランド」とは他の同種のものと区別するための考え方。

**レモン**
ミカン科の常緑低木。美肌効果、中性脂肪の吸収抑制、風邪予防、抗ストレス、疲労回復、がん予防、動脈硬化の予防、精神安定の効果があると言われている。

**住宅用火災警報器**
煙や熱を感知し、音や音声により警報を発して火災の発生を知らせる機器。消防法に基づき全ての住宅に設置が義務付けられた。

**瀬戸内市立学校通学区域等検討委員会**
瀬戸内市立学校における教育効果の向上を図るため設置された委員会であり、市立幼稚園および小・中学校の通学区域の調査・統廃合の調査並びに検討に関し市教育委員会の諮問に応じ、その結果について答申を行う機関。

**オリーブ会**
会員は、常設展と企画展を無料で観覧できる。特別展については、個人会員は半額、団体会員は招待券5枚の優待を受けられる。
また会員には、美術館ニュースやメールによる情報提供を行う。年間会費は、個人は2,000円（中学生以下は500円）、団体は10,000円。

**瀬戸内市図書利用者カード**
市の図書館・室で本やビデオを借りる際に利用するカード。
市図書館・室ホームページで、予約を行う場合には、このカードの裏面に記載されている利用者番号と事前に図書館・室で申請し入手したパスワードが必要。

**安心こども基金**
厚生労働省などの子育て支援対策臨時特例交付金により都道府県に造成された基金。
地域の実情に応じた創意工夫のある市町村の取り組みも対象事業となり、基金から事業経費の全額について補助が受けられる。